

地方独立行政法人市立吹田市民病院
経営強化プラン

令和6年（2024年）3月

地方独立行政法人市立吹田市民病院

目 次

1	はじめに	1
2	病院の現況	1
3	経営強化プランの対象期間	1
4	役割・機能の最適化と連携の強化	
(1)	大阪府地域医療構想を踏まえた当院の果たすべき役割・機能	1
(2)	地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能	2
(3)	機能分化・連携強化	2
(4)	医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標	2
(5)	運営費負担金の考え方	2
(6)	住民の理解のための取組	2
5	医師・看護師等の確保と働き方改革	
(1)	医師・看護師等の確保	2
(2)	臨床研修医の受入れ等を通じた若手医師の確保	2
(3)	医師の働き方改革への対応	2
6	経営形態の見直し	2
7	新興感染症の感染拡大時に備えた平時からの取組	3
8	施設・設備の最適化	
(1)	施設・設備の適正管理と整備費の抑制	3
(2)	デジタル化への対応	3
9	経営の効率化等	
(1)	経営指標に係る数値目標	3
(2)	経常収支比率及び修正医業収支比率に係る目標	3
(3)	目標達成に向けた具体的取組	3
(4)	経営強化プラン対象期間中の各年度の収支計画等	3

1 はじめに

地方独立行政法人市立吹田市民病院経営強化プランは、業務運営の基本方針である第3期中期計画をベースとし、「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」において要請されている事項のうち、同中期計画において不足している部分について策定するものである。

2 病院の現況

- (1) 法 人 名 地方独立行政法人市立吹田市民病院
- (2) 所 在 地 吹田市岸部新町5番7号
- (3) 設立年月日 平成26年(2014年)4月1日
- (4) 病 床 数 一般病床431床
- (5) 診療科目(標榜29科)

内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、呼吸器・リウマチ科、循環器内科、脳神経内科、消化器内科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、腎臓泌尿器科、放射線治療科、放射線診断科、リハビリテーション科、麻酔科、精神科、心療内科、病理診断科、歯科(障がい歯科)、救急科

3 経営強化プランの対象期間

令和6年(2024年)4月1日から令和8年(2026年)3月31日

なお、令和8年度(2026年度)以降については、第4期中期計画(令和8年度(2026年度)から令和11年度(2029年度)まで)として策定する。

4 役割・機能の最適化と連携の強化

- (1) 大阪府地域医療構想を踏まえた当院の果たすべき役割・機能

- ・当院の果たすべき役割

※中期計画を参照

- ・機能別病床数(令和5年度大阪府報告基準に基づく)

高度急性期機能 92床

急性期機能 294床

回復期機能 45床

現計画期間においては機能別病床数を変更する予定はなく、回復期リハビリテーション病床については、公立病院として地域の医療機関では受入が困難な複合的疾患を有する脳血管疾患患者を回復期リハビリテーション病棟で積極的に受け入れることで対応しており、今後も現在の病床を維持する。

(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能

※中期計画を参照

(3) 機能分化・連携強化

※中期計画を参照

・医師の派遣

地域の医療機関への医師の派遣については、豊能構想医療圏域内において、平時における派遣ニーズがないため実施していないが、今後の状況に応じて検討する。

(4) 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標

※中期計画を参照

(5) 運営費負担金の考え方

※中期計画を参照

(6) 住民の理解のための取組

地域医療構想を踏まえた当院の担う医療機能について、市民の理解、納得が得られるよう、情報発信等を図ることで、良質かつ適切な医療の効率的な提供に資するよう努める。

5 医師・看護師等の確保と働き方改革

(1) 医師・看護師等の確保

※中期計画を参照

(2) 臨床研修医の受入れ等を通じた若手医師の確保

※中期計画を参照

(3) 医師の働き方改革への対応

※中期計画を参照

6 経営形態の見直し

当院は平成 26 年（2014 年）4 月 1 日に地方独立行政法人に移行し、職員の意識改革を図り、弾力的かつ機動的な病院運営に取り組んできた結果、地域医療支援病院の承認やコロナ禍にあっても診療単価等各種数値目標を達成しており、中期目標期間の業務実績評価においても、設立団体及び評価委員会から「目標を概ね達成した」と評価されている。

今後も医療環境の変化、新興感染症や災害など、当院が対応しなければならない事項は多岐にわたるが、理事長を中心とした経営の自由度が高い地方独立行政法人という経営形態の特長を活かし、公立病院としての役割を果たしていく。

7 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組

※中期計画を参照

- ・専門人材の確保・育成

感染管理認定看護師等の専門性の高い職員の人材確保・育成に努める。

- ・クラスター発生時の対応方針の共有

地域の医療機関、医師会及び保健所と合同したカンファレンスや訓練を行い、対応方針の共有に努める。

8 施設・設備の最適化

- (1) 施設・設備の適正管理と整備費の抑制

※中期計画及び別表 1 を参照

- (2) デジタル化への対応

※中期計画を参照

9 経営の効率化等

- (1) 経営指標に係る数値目標

※中期計画及び別表 2 を参照

- (2) 経常収支比率及び修正医業収支比率に係る目標

※中期計画及び別表 2 を参照

- (3) 目標達成に向けた具体的取組

※中期計画を参照

- (4) 経営強化プラン対象期間中の各年度の収支計画等

※中期計画、別表 2 及び 3 を参照

別表 1 施設及び設備に関する計画

(単位：百万円)

施設及び設備の内容	令和 6 年度	令和 7 年度	財源
医療機器等整備	876	231	吹田市長期借入金等

別表 2 経営指標に係る数値目標

項目	令和 6 年度	令和 7 年度
経常収支比率	100.2%	101.3%
医業収支比率	96.6%	96.9%
病床利用率	90.0%	90.0%
入院患者数（1 日当たり）	387.7 人	387.7 人
外来患者数（1 日当たり）	900.0 人	900.0 人
入院診療単価	65,400 円	65,800 円
外来診療単価	18,400 円	18,600 円
新入院患者数	10,920 人	10,970 人
手術件数	3,870 件	4,000 件
給与費比率	54.0%	53.9%
経費比率	13.8%	13.7%
材料費比率	27.7%	27.7%
平均時間外労働時間数（全職員）	13 時間/月	13 時間/月

別表 3 収支計画

(単位：百万円)

区分	令和 6 年度	令和 7 年度
収入の部	14,888	15,028
営業収益	14,692	14,836
医業収益	13,635	13,718
運営費負担金収益	892	939
補助金等収益	23	23
資産見返運営費負担金戻入	97	111
資産見返補助金等戻入	46	46
資産見返寄附金戻入	0	0
資産見返物品受贈額戻入	0	0
その他営業収益	0	0
営業外収益	196	192
運営費負担金収益	81	77
その他営業外収益	114	114
臨時利益	0	0
支出の部	14,856	14,832
営業費用	14,116	14,154
医業費用	12,993	13,029
給与費	6,829	6,856
材料費	3,777	3,800
経費	1,484	1,480
減価償却費	867	857
研究研修費	36	36
一般管理費	1,123	1,125
営業外費用	740	678
臨時損失	0	0
純損益	32	196
目的積立金取崩額	0	0
総利益	32	196

(注 1) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入しているため、合計で一致しないものがある。

(注 2) 期間中の給与改定及び物価の変動は考慮していない。